

# 学びのサイクルをDXする

## LECO (Learning ECO system)

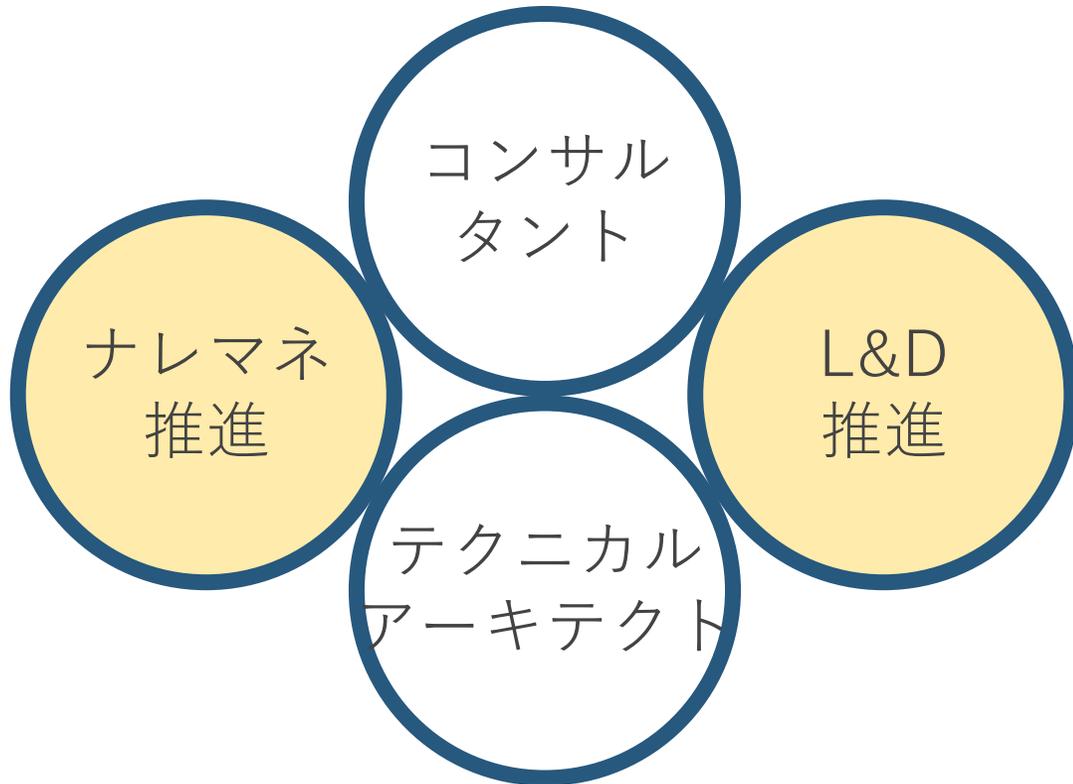
広沢 元

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社



# 自己紹介

- ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ（株）
- 広沢 元
- 4足のワラジを履いています



## はじめに

- よくこんなことを聞かれます。



ケンブリッジさんはどうやって  
コンサルタントを育成しているんですか？

本日は、ケンブリッジの育成の取り組みと、  
学ぶ文化を育むコツをお伝えします。

## 本日お話しすること

1. ケンブリッジの**育成制度**
2. 学びの生態系を作る **LECO** とは
3. 学ぶ組織を育む**コツ3選**

## 本日本話すること

1. ケンブリッジの育成制度
2. 学びの生態系を作る **LECO** とは
3. 学ぶ組織を育むコツ3選

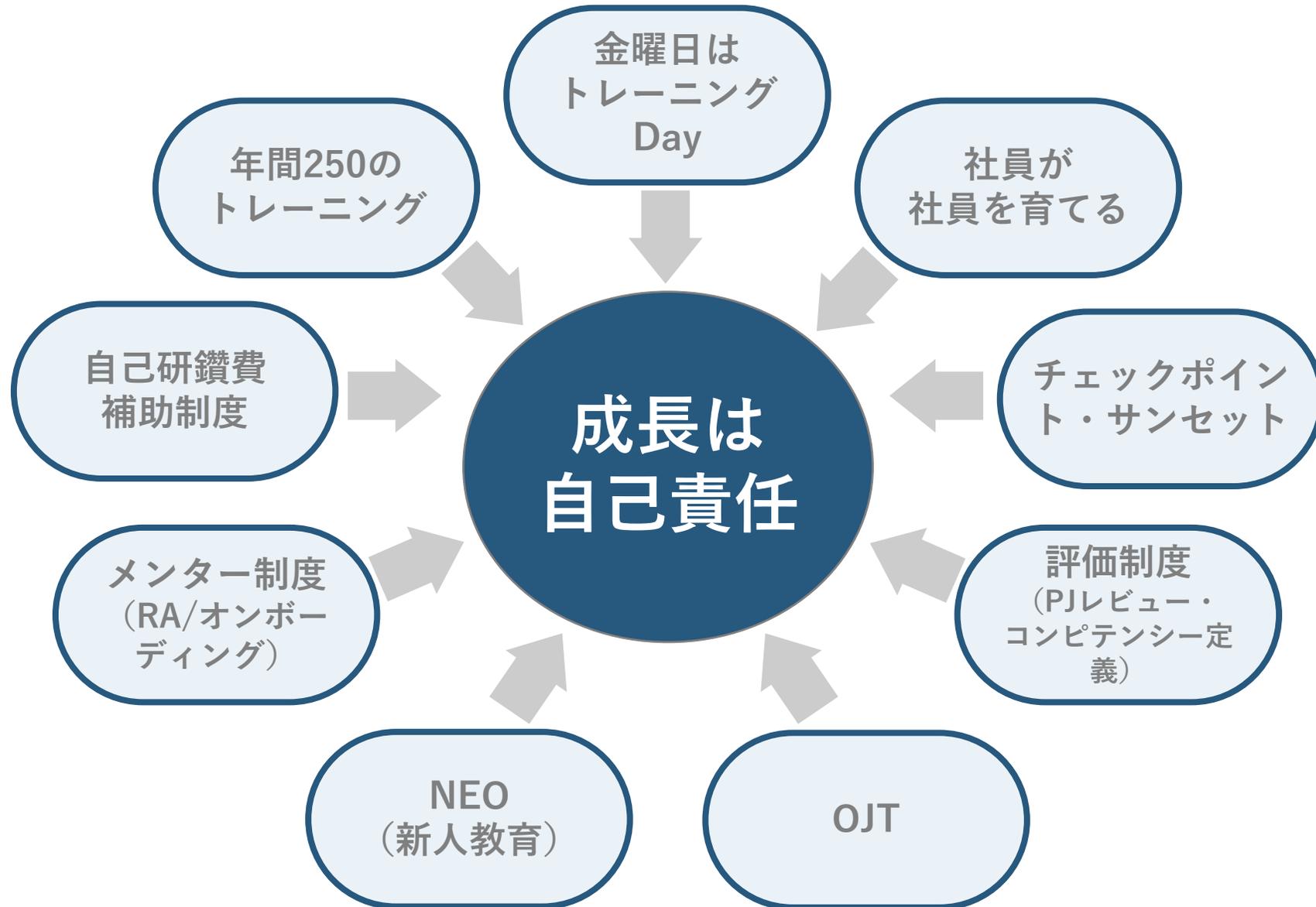
## ケンブリッジの育成制度

- 育成の基本ポリシーは「**成長は自己責任**」

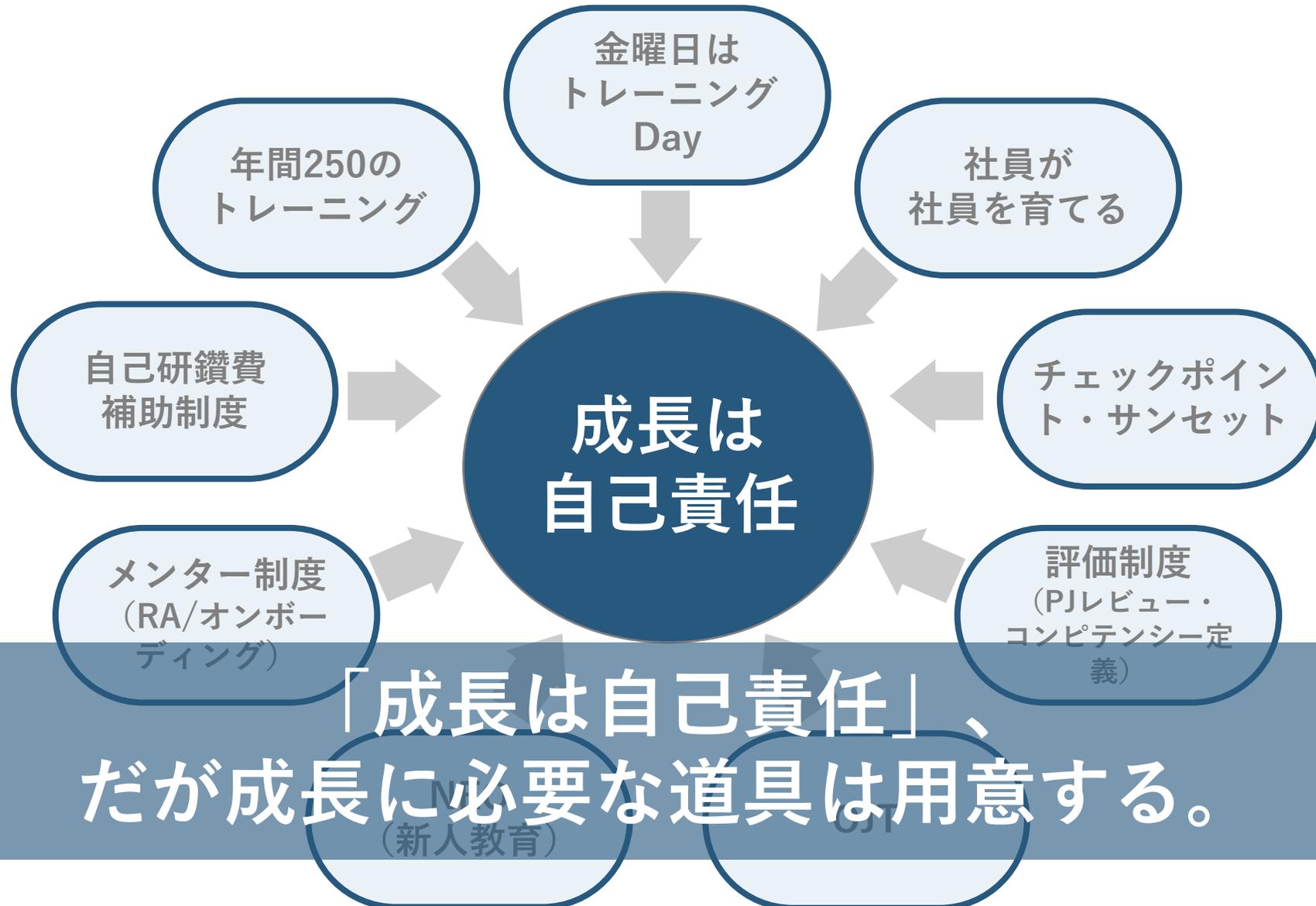
**×** 教えて貰うのを**待つ**

**○** 学びとりに**いく**

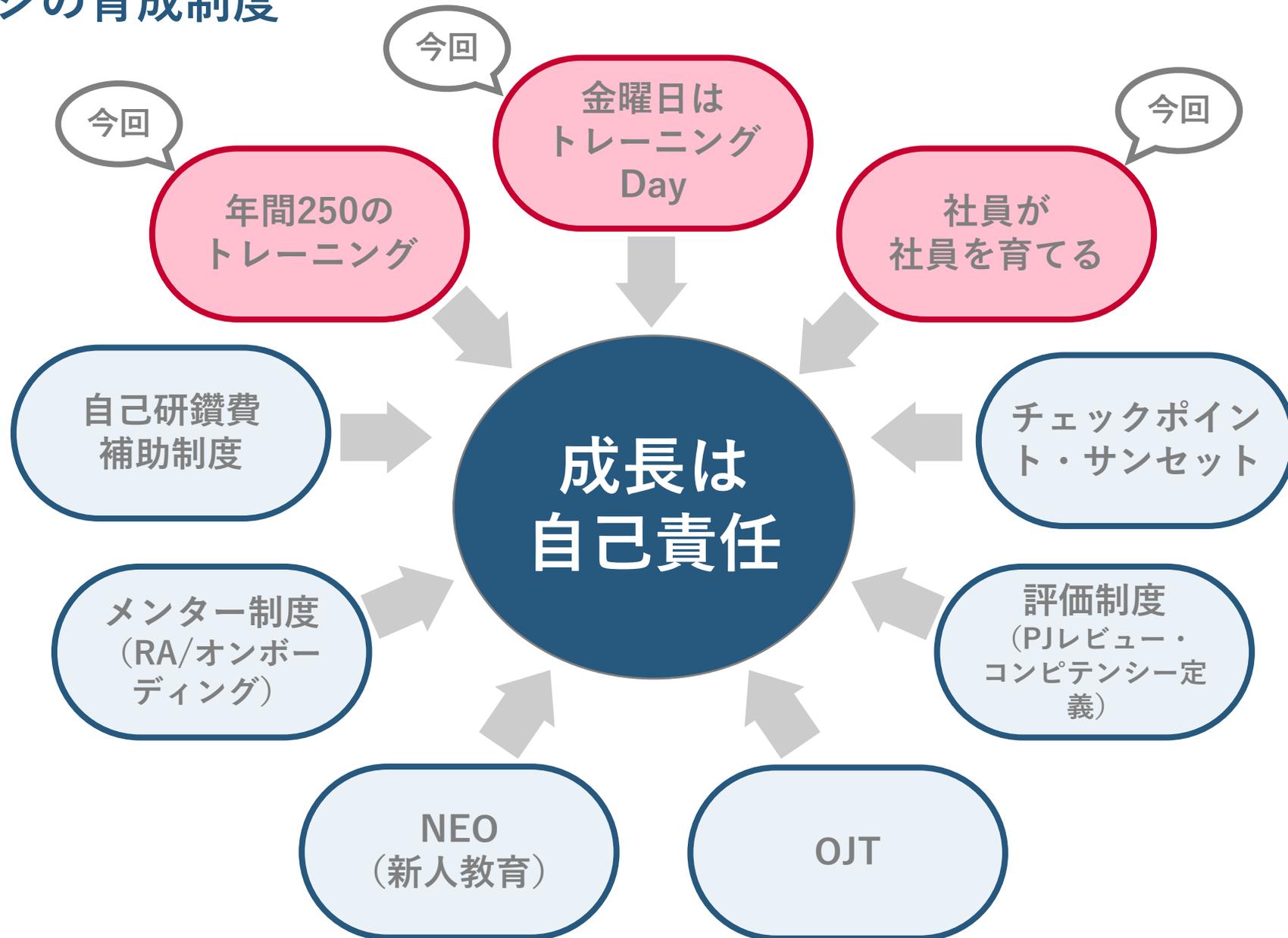
# ケンブリッジの育成制度



# ケンブリッジの育成制度



# ケンブリッジの育成制度



# ケンブリッジの育成制度

## ① 金曜日はトレーニングDay

● 毎週金曜日はトレーニングDayとして、4～10個のトレーニングが開催されます。

金  
24・十七日

|                      |                                |                                   |                              |
|----------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 【座談会】成長できるプロジェクト ①   | ケンブリッジマーケのこれまでとこれからを考える会 第2回 ② |                                   |                              |
| 【L&D】PJ共有会：品川PJ ③    |                                |                                   |                              |
| 【TS1年】資料作成の7step ④   | Mgt向け提案勉強会 ⑤                   |                                   |                              |
| 【CF】xxさん Akasaka_C ⑥ | 【養成学校】Planningコース_CF ⑦         | 【ゆる勉強会】バタなシステム構想策定の型（X点とれるか、知らん ⑧ | 芝公園PJ勉強会①～芝公園PJの概要・健康増進事業～ ⑨ |
| 給与明細の見方 ⑩            |                                |                                   |                              |

金  
31・二十四日

|                                       |                            |
|---------------------------------------|----------------------------|
| 【L&D】Assessmentトレーニング（USリクエスト） ①      |                            |
| 白【L&D】天神振り返り座談会 ②                     | 【CF】歩さん「ケンブリッジ社員のバフォ」 ③    |
|                                       | 【田町PJ勉強会】しくじり先生 俺みたいになるな ④ |
| 【トレーニング】プロジェクトマネジメント Akasaka_Charta ⑤ | マナートレーニング ⑥                |

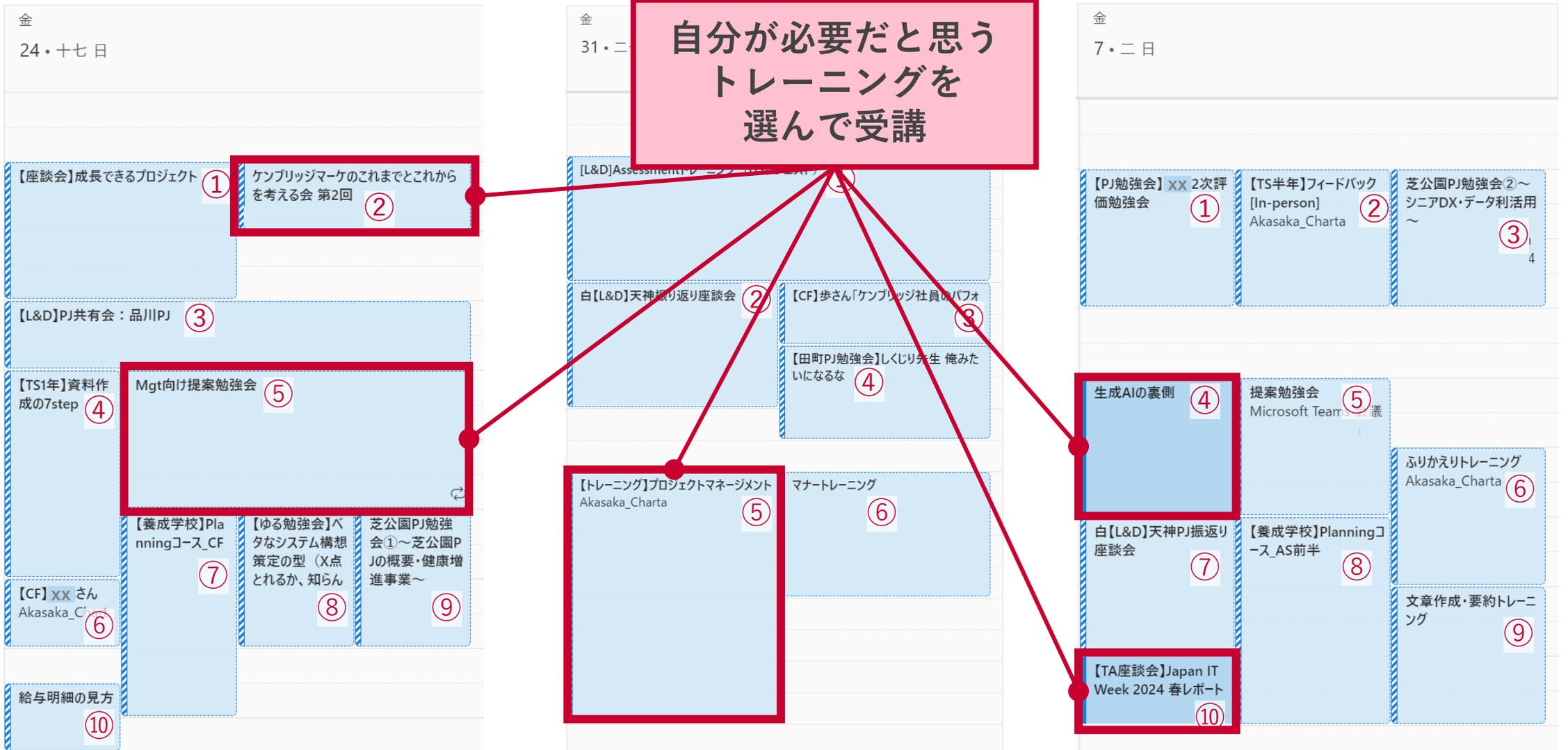
金  
7・二日

|                                   |  |                              |
|-----------------------------------|--|------------------------------|
| 【PJ勉強会】xx 2次評価勉強会 ①               | 【TS半年】フィードバック [In-person] Akasaka_Charta ② | 芝公園PJ勉強会②～シニアDX・データ活用～ ③     |
| 生成AIの裏側 ④                         | 提案勉強会 Microsoft Team ⑤                     | ふりがえりトレーニング Akasaka_Charta ⑥ |
| 白【L&D】天神PJ振り返り座談会 ⑦               | 【養成学校】Planningコース_AS前半 ⑧                   | 文章作成・要約トレーニング ⑨              |
| 【TA座談会】Japan IT Week 2024 春レポート ⑩ |  |                              |

# ケンブリッジの育成制度

## ① 金曜日はトレーニングDay

- 毎週金曜日はトレーニングDayとして、4～10個のトレーニングが開催されます。



# ケンブリッジの育成制度

## ② 年間250のトレーニング

| フェーズ別   |   | テーマ別  |  |
|---|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• Concept Framing</li> <li>• IT Strategy</li> <li>• Assessment/<br/>Business Model</li> <li>• Planning</li> <li>• Scope</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• PEW Package Evaluation Workshop</li> <li>• BPP Business Process Prototyping</li> <li>• Testing</li> <li>• BPR</li> <li>• Change Management</li> <li>• PMO</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 業界・業種別</li> <li>• 企業活動とIT</li> <li>• SCM</li> <li>• 物流</li> <li>• 在庫管理</li> <li>• CRM</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• HR</li> <li>• 財務会計・管理会計</li> <li>• アウトソーシング</li> <li>• システム・アーキテクチャ</li> <li>• データ移行</li> <li>• プロジェクト事例</li> </ul> |
| プロジェクト・リーダーシップ  |   |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• PMBOK 10の知識エリア</li> <li>• 期待値マネジメント</li> <li>• 提案</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ビジネスケース</li> <li>• 研修設計</li> <li>• プロジェクト監査</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ケンブリッジ・メソドロジー体系</li> </ul>   |  |
| ワークスタイル   |   |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファシリテーション/スクライブ</li> <li>• プレゼンテーション</li> <li>• ドキュメンテーション</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• セッション・プレップ</li> <li>• アイデア創出</li> <li>• 顧客コミュニケーション</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ノーミング/サンセット</li> <li>• アイスブレイカー</li> <li>• リーガル</li> </ul>                                       |  |
| カルチャー/制度  |   | ベーススキル  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• ケンブリッジ・カルチャー</li> <li>• フィードバック</li> <li>• RA (リソースアドバイザー)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 育成制度</li> <li>• 人事評価制度</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ロジカル・シンキング</li> <li>• システム思考</li> <li>• キャッチアップ</li> </ul>                                       |  |

応用

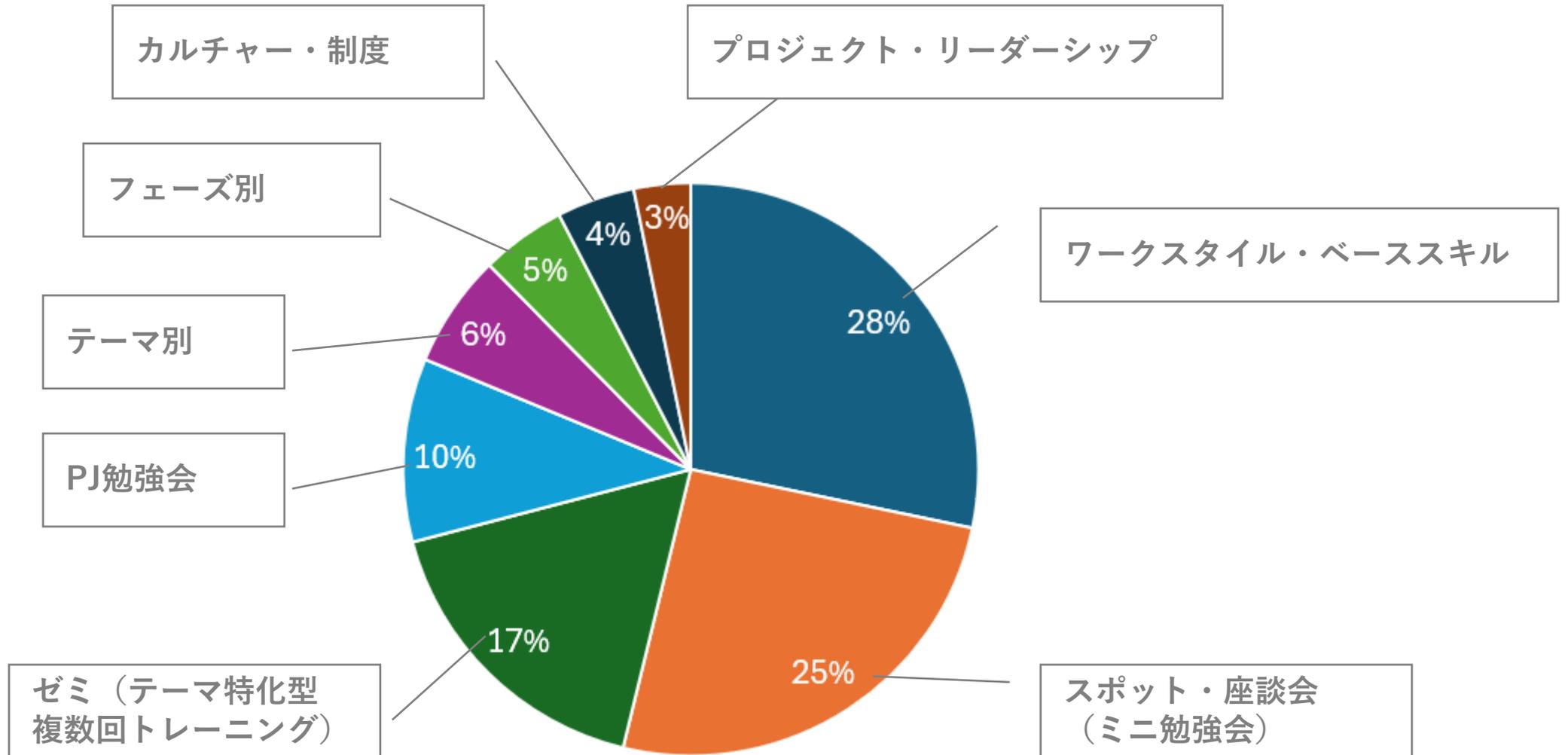


基礎

# ケンブリッジの育成制度

## ② 年間250のトレーニング

- ワークスタイル・ベースをベースに、近年はゼミ型が多くなってきている。



# 例1: リモートトレ チャットで感想、質問が飛び交う

TA座談会\_生成AIの裏側

2024.06.07  
広沢 元

◆LECO  
<https://leco.ctp.co.jp/questionnaire-answer/907>

Cambridge  
Technology Partners

Copyright © Cambridge Technology Partners Limited. All Rights Reserved. Proprietary and Confidential.

## ベクトル検索とは

■ 検索する際に文字列一致で検索するのではなく、意味の特徴を数値化（ベクトル化）して意味的に近いものを検索するのがベクトル検索です。

単語の埋め込み (Word Embedding)

単語 変換 数値ベクトル表現 (数値が並べられた配列)

「犬」 変換 [0.47, 0.10, 0.26, 0.89, -0.71, ...]

「猫」 変換 [0.45, 0.18, 0.54, -0.31, 0.96, ...]

前略して2次元のベクトル空間に各単語をマッピングした例

コサイン類似度

2つのベクトルが「どのくらい似ているか」という類似性を表す尺度

関連する情報を見つけ出す検索方法

ベクトル検索

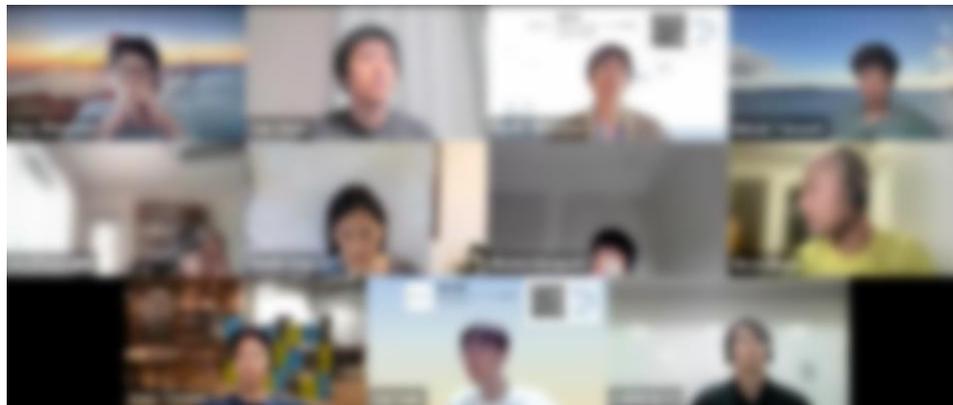
出典: ベクトル検索 (Vector Search) とは? キーワード検索との違い

Copyright © Cambridge Technology Partners Limited. All Rights Reserved. Proprietary and Confidential. 49

(補足) 次元のイメージ : 犬猫の場合

- 1.生物分類次元 : 近い
- 2.手足の数次元 : 近い
- 3.耳の数次元 : 近い
- 4.耳の向き次元 : 遠い
- 5.鳴き声次元 : 遠い

(補足) 特長は何で決まる?  
ベクトル化 (Embeddings) は様々な手法で実現されます (Doc2Vec, FastText, Cohere, GPT-ada, Vertex AI, Amazon Titan, Amazon Kendraなど) 何でベクトルを生成するかによって、特徴量の捉え方が変わるので、やりたいことに合ったものを選びます



JW XXX XXX 01:42:56  
期待値極大だからこそ実際に期待を超える進化が実現できてるんですね

TI XXX XXX 01:43:14  
生成AIは計算苦手のイメージ

HT XXX XXX 01:43:24  
同じく

ケ XXX XXX 01:43:24  
ちょっと違いそうな気がする

RS XXX XXX 01:43:36  
得意分野ではなさそうです

HA XXX XXX 01:55:08  
みんなのRAGへの期待値は、どう変化したんだろうか

JW XXX XXX 01:56:03  
私も上がりました

RS XXX XXX 01:56:46  
期待値は、ちょっと調べたりしていたのでかわっていません。ただ、ユースケースなどお話しできたり、背後の仕組みを知れて楽しかったです!

YO XXX XXX 01:57:22  
RAGへの期待値自体は変わらず、「どう使うか？」を考えねばとより感じました。

メンテナン스가必要ですね。

1個の応答

JW XXX XXX 17:41  
この場合参考資料見ても裏どりは難しいってことか、

SY XXX XXX 18:00  
OLDフォルダは弾けるのか。優秀。

1

RK XXX XXX 18:01  
なるほど

KF XXX XXX 18:01  
ベクトルの算出の仕方が気になる

HA XXX XXX 36:35  
疑われてるんだ笑

HA XXX XXX 38:38  
自社開発してるわけじゃないAWSとかの方が「セキュリティ担保してるから使ってよ！」って言いやすいですよね。LLMの品質を上げていく責任は開発側にあるから、こっそりデータ使って学習させるインセンティブないっすもんね。

RK XXX XXX 40:52  
権限設定をどうやるのか気になる

ケ ファシがうまい人のセッションの音声からエッセンスを抽出

MI XXX XXX 01:51:07  
既にCopilotが添削してくれるよね

小 XXX XXX 01:51:10  
アサインメントの提案

## 例2: ゼミ型トレ テーマ特化の複数回シリーズのブーストトレーニング



道場形式で実践を交えながら徹底的に練習する

### 例3: プチトレ 入社1年目、2年目で講師をやるのも珍しくない



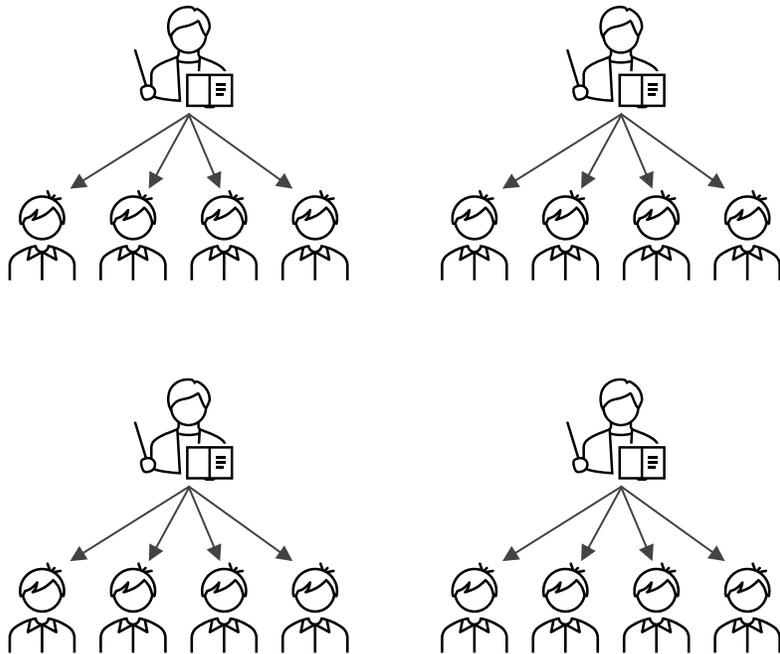
自ら学んだことを発信

# ケンブリッジの育成制度

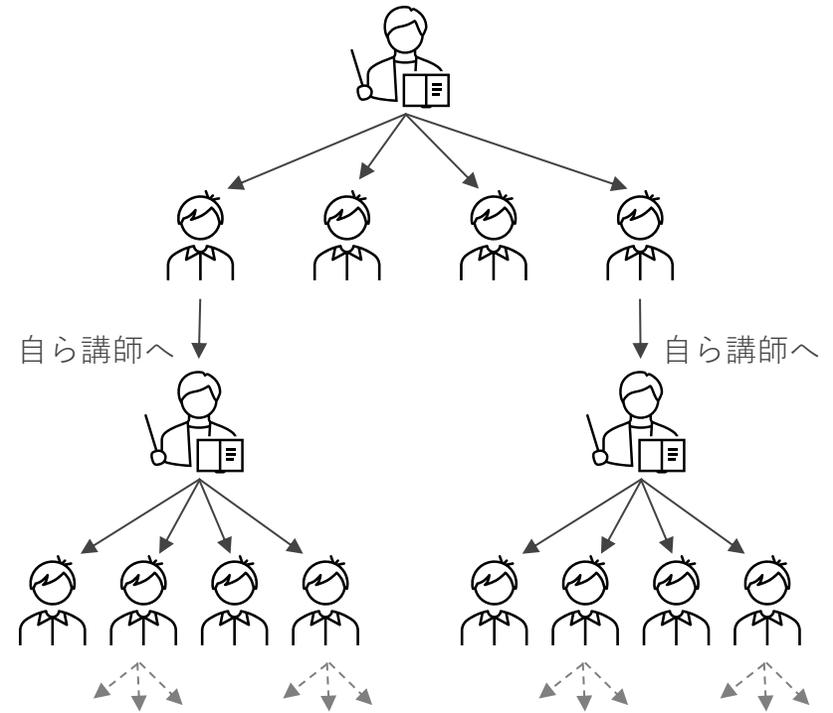
## ③ 社員が社員を育てる

- いわゆる「研修」は人事が企画し、限られた講師が教育する。
- ケンブリッジでは、社員が企画し、社員が講師となる。

研修受講型



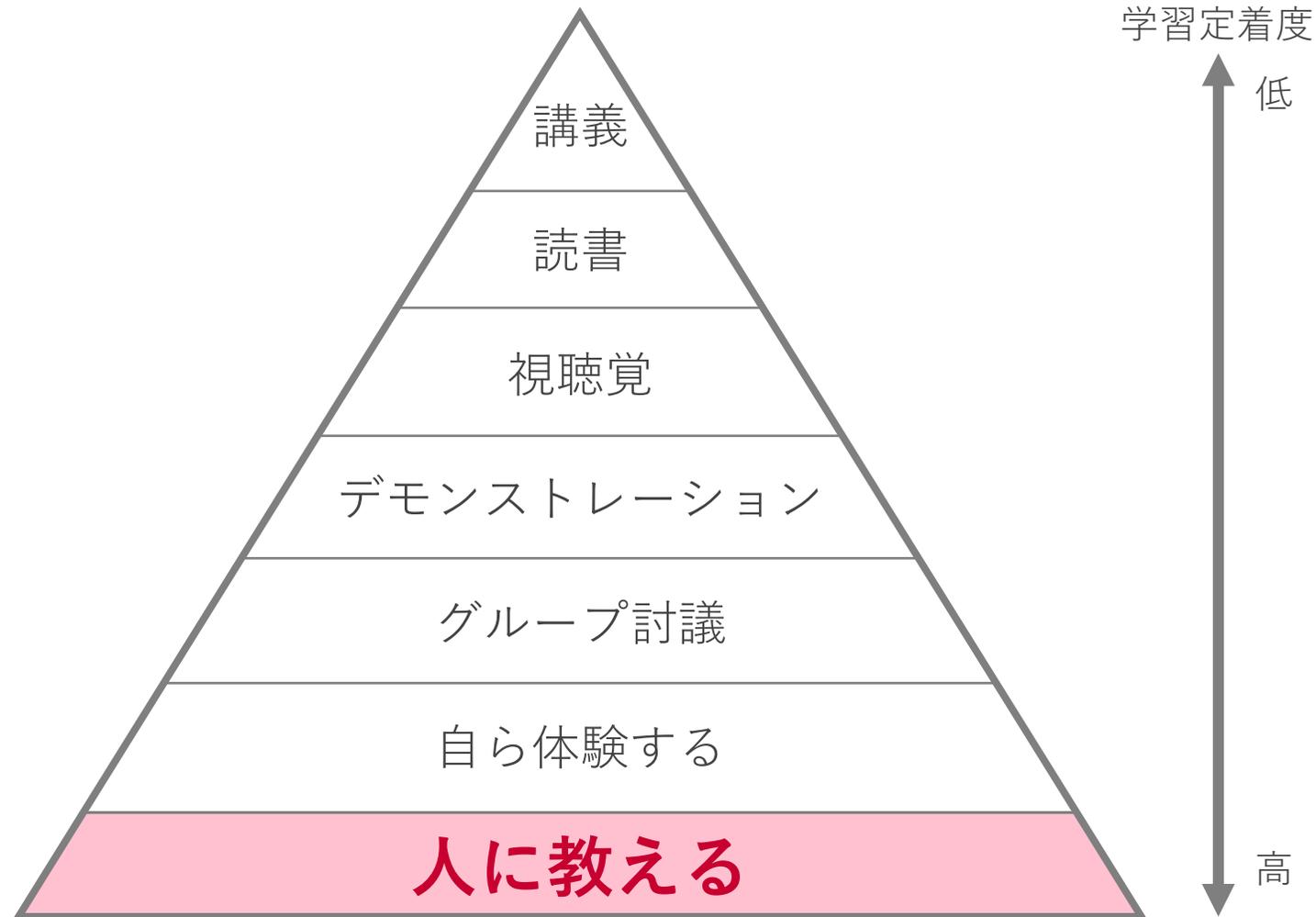
講師生産型



**なぜ、社員が社員を教えるのか？**

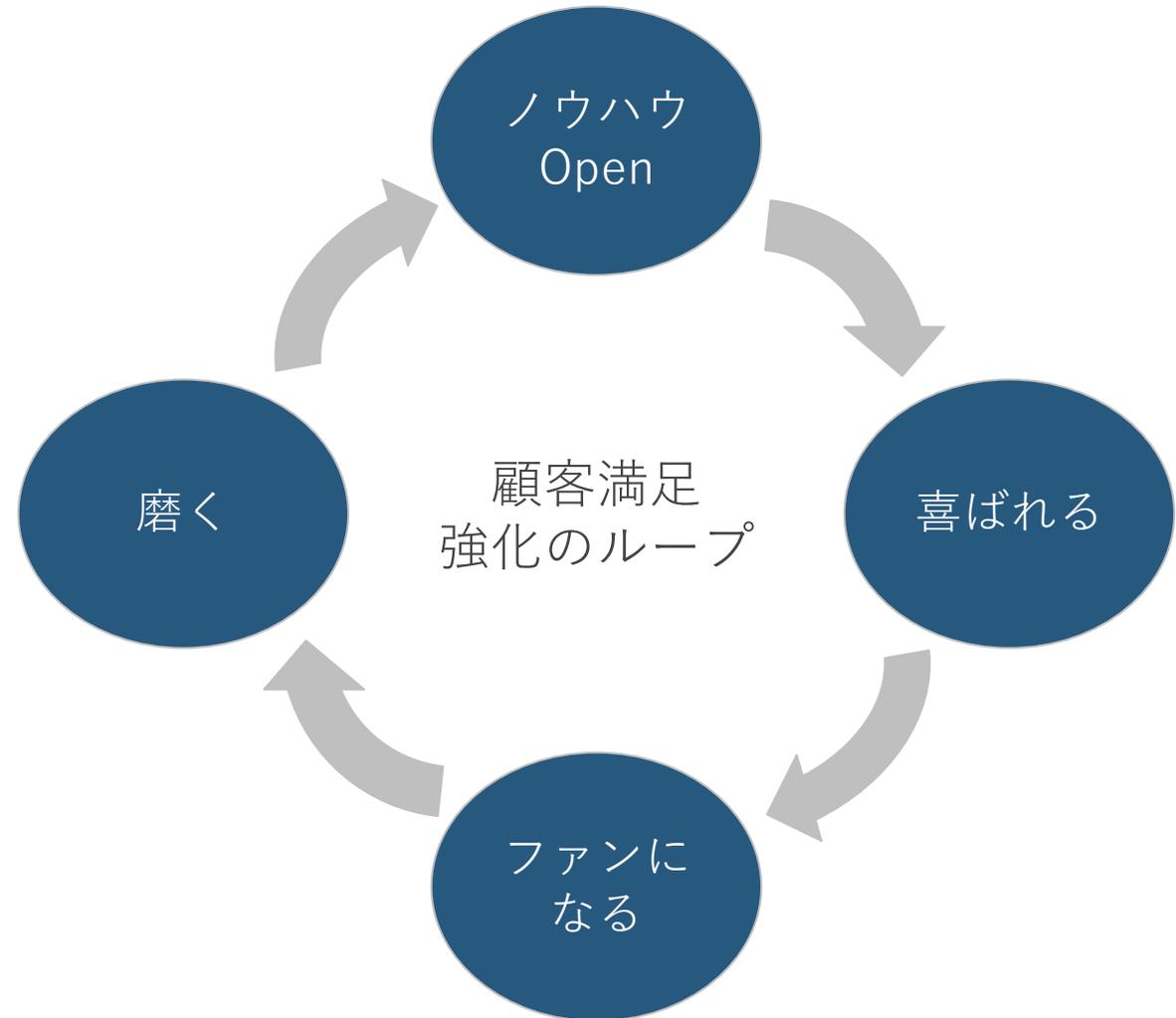
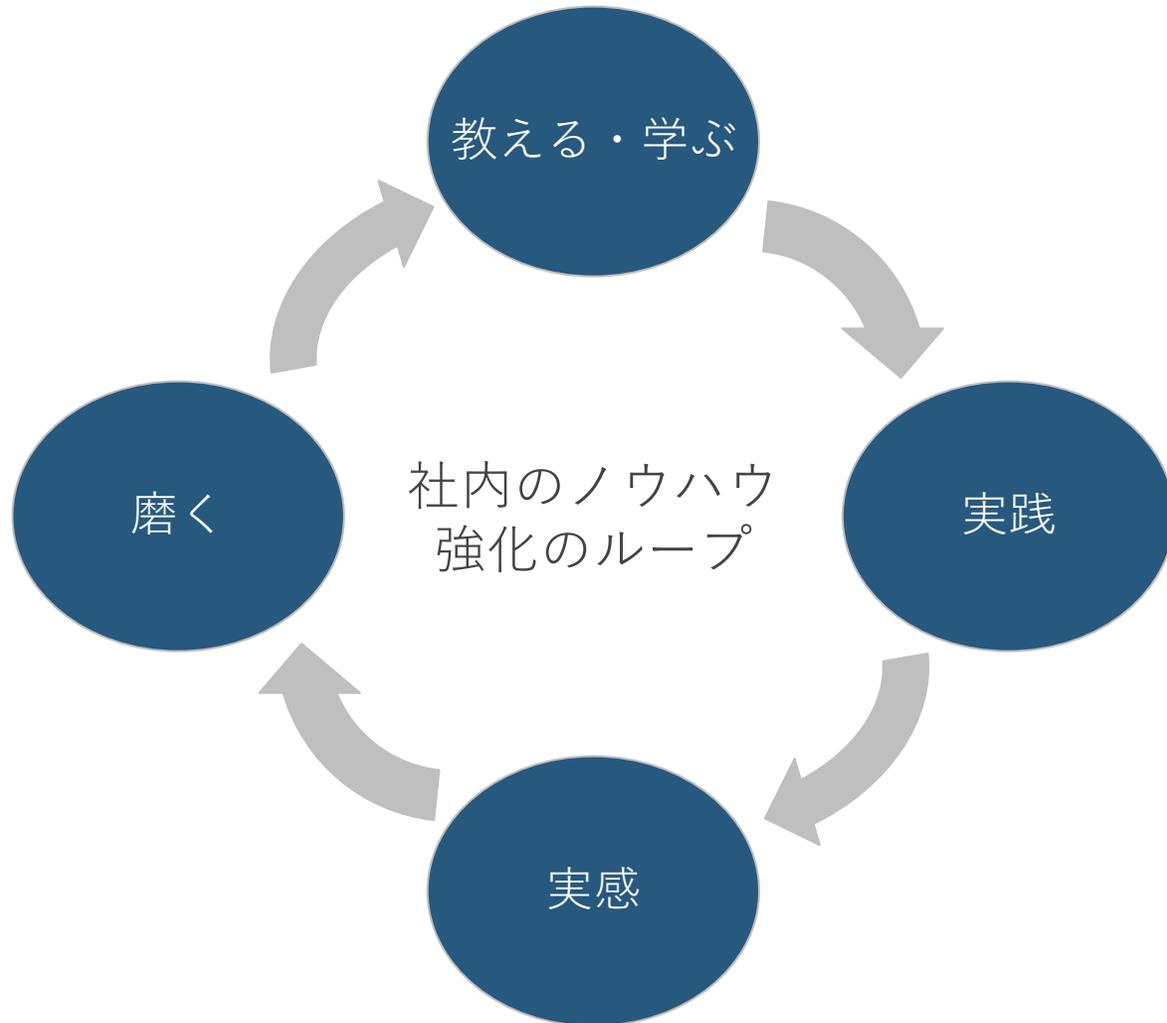
# 教えることが最大の学び

- ラーニング・ピラミッドから見ても、「人に教える」ことが最大の学びである。



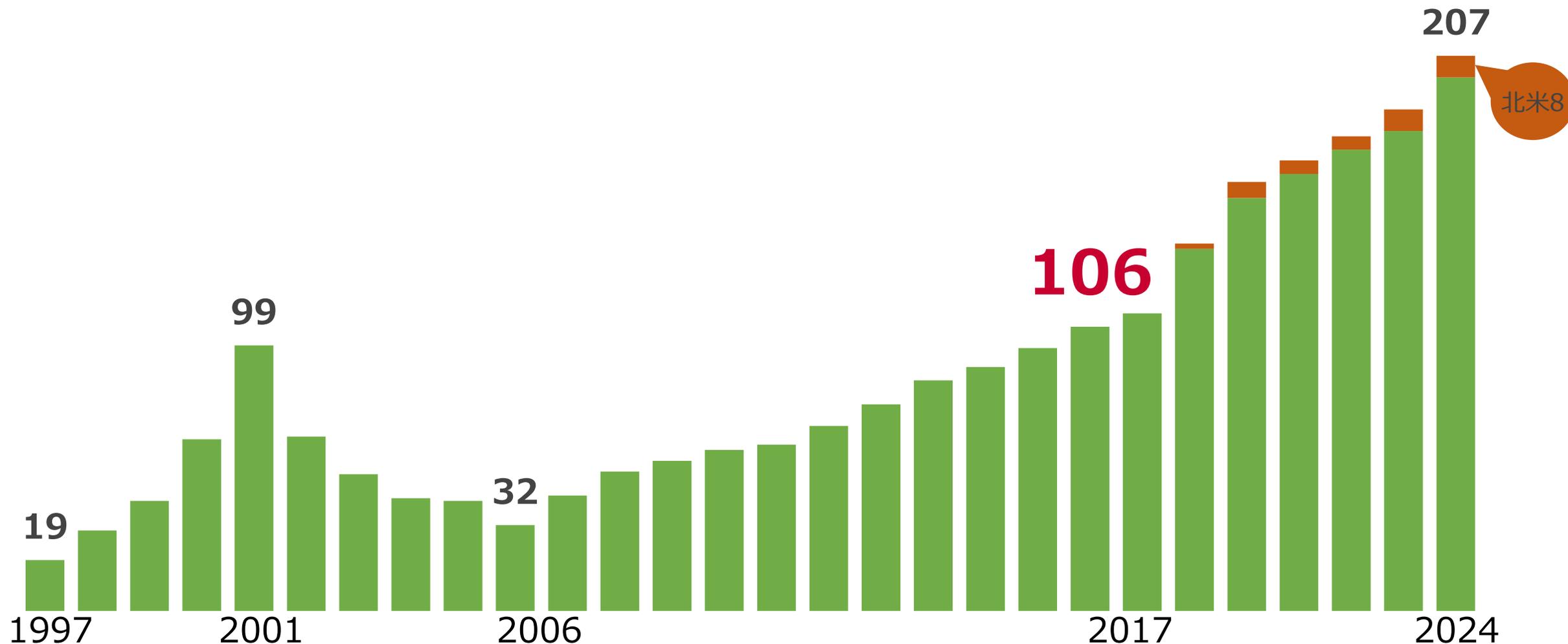
# 学ぶ意欲 = 教える意欲

- 全員が講師。教える/学ぶことが顧客満足に直結



# 研修・トレーニングの現実 ケンブリッジも順風満帆だったわけではありません

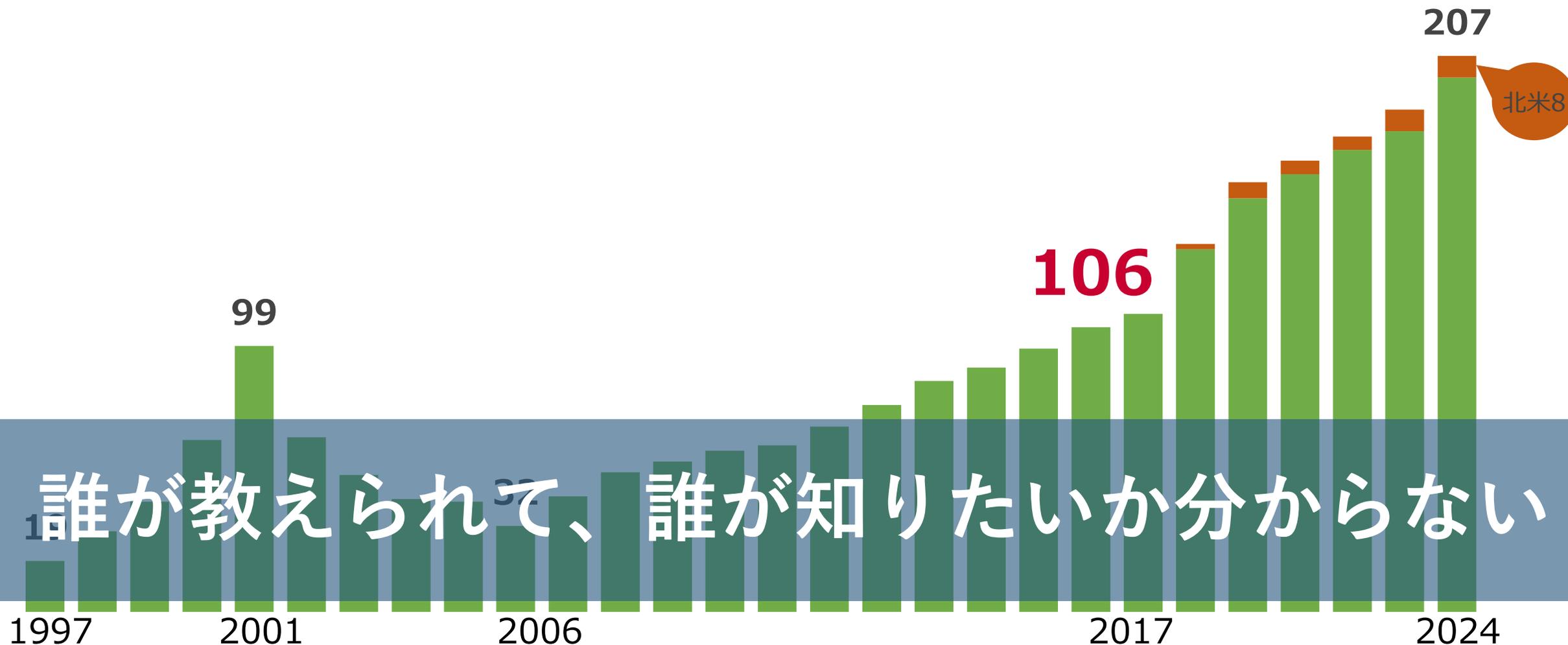
- '17年あたりからカルチャーだけで組織を維持することに限界を感じるように



図：日本法人設立後の社員数変遷（単位：人）

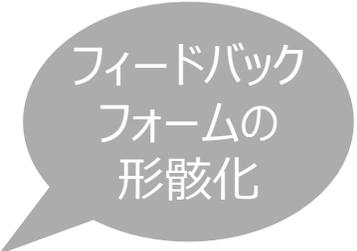
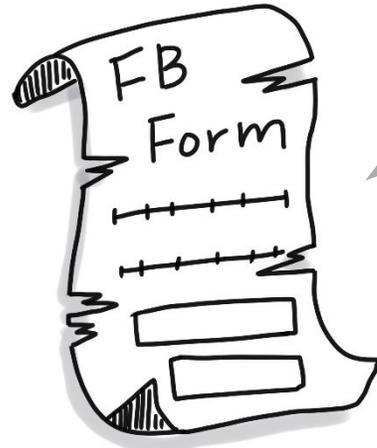
# 研修・トレーニングの現実 ケンブリッジも順風満帆だったわけではありません

- '17年あたりからカルチャーだけで組織を維持することに限界を感じるように



図：日本法人設立後の社員数変遷（単位：人）

# 研修・トレーニングの現実 ケンブリッジで起こったこと



## 本日本話しすること

1. ケンブリッジの育成制度
2. 学びの生態系を作る LECO とは
3. 学ぶ組織を育むコツ3選

# 学びの生態系を作るLECOとは

- トレーニングの課題を解決するための仕組みがLECO (Learning ECO system)

① 講師と受講者を  
マッチング



② 講師を後押し



③ 受講しやすく

# 学びの生態系を作るLECOとは

## ①受講者と講師のマッチング

- 定番トレーニングの希望・講師可否を可視化してマッチング



# 学びの生態系を作るLECOとは

## ①受講者と講師のマッチング

### ●希望者と講師を可視化

LECO

希望者を見る トレーニングを登録する Hirosawa Hajime

トレーニング別の人数集計

凡例 絶対参加者数：なんとしてでと回答した人数

| トレーニング名  | 絶対参加者数 | 受講希望者数 | 講師数 |
|----------|--------|--------|-----|
| セキュリティ   | 9      | 33     | 7   |
| SAP      | 7      | 37     | 7   |
| 施策立案     | 7      | 41     | 8   |
| NoSQL    | 6      | 29     | 4   |
| BI       | 6      | 34     | 4   |
| アジャイル開発  | 6      | 28     | 7   |
| 【TS】WBS  | 6      | 36     | 16  |
| 【PL】作業設計 | 6      | 33     | 28  |

社員ごとの希望・講師可否が見れる

社員別の受講希望/講師可否

| 社員名 | 受講ステータス | 希望ステータス | 講師ステータス |
|-----|---------|---------|---------|
| Aさん | 受講済     |         | 講師可能    |
| Bさん | 未受講     | 絶対参加    | 講師不可    |
| Cさん | 未受講     | 受講希望    | 講師不可    |
| Dさん |         |         | 講師可能    |
| Eさん | 受講済     | 受講しない   | 講師不可    |
| Fさん |         |         |         |
| Gさん | 未受講     |         | 講師不可    |
| Hさん |         |         | 講師不可    |

# 学びの生態系を作るLECOとは

## ①受講者と講師のマッチング

### ●希望者と講師を可視化

LECO

希望者を見る トレーニングを登録する Hirosawa Hajime

トレーニング別の人数集計

凡例 絶対参加者数：なんとしてでと回答した人数

| トレーニング名  | 絶対参加者数 | 受講希望者数 | 講師数 |
|----------|--------|--------|-----|
| セキュリティ   | 9      | 33     | 7   |
| SAP      | 7      | 37     | 7   |
| 施策立案     | 7      | 41     | 8   |
| NoSQL    | 6      | 29     | 4   |
| BI       | 6      | 34     | 4   |
| アジャイル開発  | 6      | 28     | 4   |
| 【TS】WBS  | 6      | 36     | 5   |
| 【PL】作業設計 | 6      | 33     | 2   |

社員ごとの希望・講師可否が見れる

社員別の受講希望/講師可否

| 社員名 | 受講ステータス | 希望ステータス | 講師ステータス |
|-----|---------|---------|---------|
| Aさん | 受講済     |         | 講師可能    |
| Bさん | 未受講     | 絶対参加    | 講師不可    |
| Cさん | 未受講     | 受講希望    | 講師不可    |
| Dさん |         |         | 講師可能    |
| Eさん | 受講済     | 受講しない   | 講師不可    |
| Fさん |         |         |         |
| Gさん | 未受講     |         | 講師不可    |
| Hさん |         |         | 講師不可    |

見えなくなっていた  
社員の顔（希望）が見えるように

# 学びの生態系を作るLECOとは

## ②講師を後押し

- 希望が可視化されると、「自信のある人」は変わるが、「自信・勇気がもう一歩の人」は変わらない。
- なので、心理的安全性と制度と人が後押し

|     | 月日        | 時間            | 会社イベント     | オーナー名 | トレーニング名        |
|-----|-----------|---------------|------------|-------|----------------|
| 112 | 2024/6/14 | 1 9:00~12:00  | CM         |       |                |
| 113 |           | 2 12:00~13:00 | ケンブリッジ・フェス |       |                |
| 114 |           | 3 13:00~15:00 | ケンブリッジ・フェス |       |                |
| 115 |           | 4 15:00~17:00 | ケンブリッジ・フェス |       |                |
| 116 | 2024/6/21 | 1 10:00~12:00 |            |       | 天神PJ振り返り座談会    |
| 104 |           | 2 12:00~13:00 |            |       | 1時間でできる何か      |
| 118 |           | 3 13:00~15:00 |            |       | ToDo/Issueのお作法 |
| 119 |           | 4 15:00~17:00 |            |       | 新規事業関係で何か      |
| 120 |           | 5 15:00~18:00 |            |       | 【養成学校】AS後半 分   |
| 121 | 2024/6/26 | 1 15:00~      |            |       | 【養成学校】資料作り/IST |
| 122 | 2024/6/28 | 1 10:00~      |            |       | ご自愛トレーニング      |
| 123 |           | 2 12:00~      |            |       | 【PJ共有会】N社      |
| 124 |           | 3 13:00~      |            |       | OPサービス勉強会      |
| 125 |           | 4 15:00~      |            |       | タスク設計          |
| 126 |           | 5 17:00~      |            |       | システム・アーキテクチャ   |
| 127 | 2024/7/5  | 1 10:00~      |            |       | チェンジマネジメント     |
| 128 |           | 2 12:00~13:00 |            |       | ビジコンの勧め        |
| 129 |           | 3 13:00~15:00 |            |       | フィードバック        |
| 130 |           | 4 15:00~18:00 |            |       | 【養成学校】BM 施策検討  |

枠は約200  
なのでほぼ  
全員が講師を  
することになる

予め定番トレ  
の枠を作って  
埋める方式

座談会  
などもある

# 学びの生態系を作るLECOとは

## ②講師を後押し

### ● 講師はトレーニングをLECOに登録するだけでOK

**LECO** アプリ 1ヶ月前

@ Aさん さんがトレーニングの予定を登録してくれました 🎉

**全体周知**

名称: 生成AIの裏側  
日時: 2024/06/07 13:00~15:00  
講師: @ Aさん  
資料:  
会場: Zoom  
Zoom: <https://xxxxxxxxx.zoom.us/>  
LECOアンケート: <https://xxxxx.co.jp/>  
対象者:  
生成AIについて興味がある方  
knowlepoのRAGに「お、こいつやるな」  
詳細:  
生成AIやRAGというテクノロジーはIT  
ーです。

**LECO** アプリ 7日前

🌞🌞 本日開催予定 🌞🌞

名称: 【TA座談会】生成AIの裏側  
日時: 2024/06/07 13:00~15:00  
講師: @ Aさん  
資料: (未登録)  
会場: Zoom  
Zoom: <https://xxxxxxxxx.zoom.us/j/xxxxxxxxxx?pwd=xxxxxxxxxSjFmMWhzN0Q1Y29yUT09>  
LECOアンケート: <https://xxxxx.co.jp/questionnaire-answer>

#👉 チャンネルにも投稿済

**LECO** アプリ 7日前

🚩🚩 まもなく開始 🚩🚩

2024/06/07 13:00からの【TA座談会】生成AIの裏側 は以下  
講師: @ Aさん  
資料: (未登録)  
場所: Zoom  
Zoom: <https://xxxxxxxxx.zoom.us/j/xxxxxxxxxx?pwd=xxxxxxxxxSjFmMWhzN0Q1Y29yUT09>  
LECOアンケート: <https://xxxxx.co.jp/questionnaire-answer>

**LECO** アプリ 6日前

📺📺 録画案内 📺📺

**当日リマインド**

本日の【TA座談会】生成AIの裏側 トレーニング録画はこちらです。  
日時: 2024/06/07 12:58~14:58  
講師: Aさん  
資料: (未登録)  
録画: <https://xxxxx.co.jp/zoom-rec-watch/907>  
アンケート回答をしていない方は是非講師にFBをお願いします。  
LECOアンケート回答登録: <https://xxxxx.co.jp/questionnaire-answer/907>  
LECOアンケート結果確認: <https://xxxxx.co.jp/questionnaire-answer-result/907>

**LECO** アプリ 6日前

📝📝 LECOアンケートリマインド 📝📝

**録画共有**

**フィードバックリマインド**

【TA座談会】生成AIの裏側 に参加の皆様おつかれさまです。  
LECOアンケートが未登録のようなのでURLをご案内します 🙇  
まだアンケート回答率が半分以下です(15人/30人) 😞  
是非講師にFBをお願いします。  
LECOアンケート: <https://xxxxx.co.jp/questionnaire-answer/907>  
未回答者: @ Aさん @ Bさん @ Cさん

# 学びの生態系を作るLECOとは

## ②講師を後押し

- 講師はトレーニングをLECOに登録するだけでOK

The image shows a series of notifications from the LECO app. The first notification, dated 1 month ago, is a general announcement that a training session has been registered. The second, dated 7 days ago, provides details for the session: '【TA座談会】生成AIの裏側' on June 7, 2024, from 13:00 to 15:00, with a Zoom link and a questionnaire. The third, dated 6 days ago, is a '当日リマインド' (Day of Reminder) for the session, including a recording link and a request for feedback. The fourth, also dated 6 days ago, is a '録画共有' (Recording Shared) notification, providing the recording link and a reminder to complete the questionnaire. The fifth, dated 6 days ago, is a 'フィードバックリマインド' (Feedback Reminder) notification, noting that the questionnaire response rate is below 50% and requesting more feedback. A large white text overlay reads: 'あとはLECOがコンシエンジェリとなり 各種案内を自動でやってくれる' (Then LECO becomes the concierge and automatically handles various guidance).

**LECO アプリ 1ヶ月前**  
@ Aさん さんがトレーニングの予定を登録してくれました 🎉 **全体周知**

名称: 生成AIの裏側  
日時: 2024/06/07 13:00~15:00  
講師: @ Aさん  
資料:  
会場: Zoom  
Zoom: <https://xxxxxxxxx.zoom.us/>  
LECOアンケート: <https://xxxxx.co.jp/>  
対象者:  
生成AIについて興味がある方  
knowlepoのRAGに「お、こいつやるな」  
詳細:  
生成AIやRAGというテクノロジーはIT  
ーです。

**LECO アプリ 7日前**  
🌞🌞 本日開催予定 🌞🌞  
名称: 【TA座談会】生成AIの裏側  
日時: 2024/06/07 13:00~15:00  
講師: @ Aさん  
資料: (未登録)  
会場: Zoom  
Zoom: [https://xxxxxxxxx.zoom.us/j/xxxxxxxxxx ?pwd=xxxxxxxxx SjFmMWhzN0Q1Y29yUT09](https://xxxxxxxxx.zoom.us/j/xxxxxxxxxx?pwd=xxxxxxxxxSjFmMWhzN0Q1Y29yUT09)  
LECOアンケート: <https://xxxxx.co.jp/questionnaire-answer>

**LECO アプリ 6日前**  
📺 録画案内 📺 **録画共有**  
本日の【TA座談会】生成AIの裏側 トレーニング録画はこちらです。  
日時: 2024/06/07 12:58~14:58  
講師: Aさん  
資料: (未登録)  
録画: <https://xxxxx.co.jp/zoom-rec-watch/907>  
アンケート回答をしていない方は是非講師にFBをお願いします。  
LECOアンケート回答登録: <https://xxxxx.co.jp/questionnaire-answer/907>  
LECOアンケート結果確認: <https://xxxxx.co.jp/questionnaire-answer-result/907>

**LECO アプリ 6日前**  
📺 録画案内 📺 **当日リマインド**  
【TA座談会】生成AIの裏側 参加の皆様、いかがですか？  
LECOアンケートが未登録のようなのでURLをご案内します 🙏  
まだアンケート回答率が半分以下です(15人/30人) 😞  
是非講師にFBをお願いします。  
LECOアンケート: <https://xxxxx.co.jp/questionnaire-answer/907>  
未回答者: @ Aさん @ Bさん @ Cさん

**LECO アプリ 6日前**  
📺 録画案内 📺 **フィードバックリマインド**

あとはLECOがコンシエンジェリとなり 各種案内を自動でやってくれる

# 学びの生態系を作るLECOとは

## ③ トレーニングを受けやすくする

- リアルタイム参加する場合は、LECOの案内どおりに入ればOK

**LECO** アプリ 7日前

**当日リマインド**

🚩🚩 まもなく開始 🚩🚩

2024/06/07 13:00からの **【TA座談会】生成AIの裏側** は以下で開催

講師: @ Aさん

資料: (未登録)

場所: Zoom

Zoom: [https://XXXXXXXXX zoom.us/j/XXXXXXXXX ?pwd XXXXXXXX](https://XXXXXXXXX.zoom.us/j/XXXXXXXXX?pwd=XXXXXXXX)

LECOアンケート: <https://xxxxx.co.jp/questionnaire-answer/907>

6. コースの中で得た気づき・新しい知識は何ですか。明日から何を実践しますか？

**FBを書いて共有**

| 氏名    | 回答内容  |
|-------|---|
| XXXXX | <ul style="list-style-type: none"><li>・「単一案／複数案提示型」などの、状況に応じて案をどのように出すか？のスライドが個人的にはヒット。</li><li>・最初の前提や前振りの内容もいい。前提をちゃんと言いましょう、で終わるのではなく、さらに要素分解して、項になっているのもよい。今度メンバーたちにFBするときに使いたい。</li><li>・コラムがぜんぶ面白かった。あるあるだよね。</li><li>・「こんなことはありませんか？」のスライドも好き。刺さる。</li><li>・最後の方の2, 3個の演習はよかった。特に「ファシは、合意点と相違点を明らかにする、その繰り返し」のくだり。私は優等生じゃなかったけどw、あれはほんとそう。</li><li>・政治家が同じことを繰り返して言っていたりして、ところどころウィットに富んだ部分があったのもよかった。くすつとなるもんね。</li></ul> |
| XXXXX | <ul style="list-style-type: none"><li>・アジェンダごとのゴールを設ける</li><li>・問いは、目的が透けて見えるまで具体化する。「どうですか？」「何かありますか？」は×</li><li>・自分の評価 &lt; セッション・PJの成功。仮説が否定されても問題ではない。</li><li>・一致するところと差異があるところの確認を繰り返すことで論点を見出す。<br/>「この部分は皆さん同じご意見という理解で良いですかね。そのうえで..」</li></ul>  |
| XXXXX | <p>他の人の気づきも勉強になる</p> <p>ケンブリッジのトレーニングらしいトレーニングで、その一部の方に任せても考えての発見があるのでよいトレーニングです。一方、やはり課題が難しかったので、4月19日の研修などおぼつかない人と、結構大きなトレーニングになりそうだと思います。(これくらい考えないとダメなんだな、と認識してもらうのにはいいかもしれませんが)</p>  |
| XXXXX | <ul style="list-style-type: none"><li>・問題の合意の確度とファシのサポートファシの優先の付の参考になった。</li><li>・アジェンダについて話し合える段階に沿って意図を説明する聞き手にとってレビューポイントとなり意見が出しやすい(アジェンダもあってどうもかー！と見るともや)</li><li>・解決策の検討の観点の出し方について。「みんなHAPPYなるか？」は人によって「みんな」をどこまで捉えられるかが違いそう。知識や経験がないと「みんな」の範囲が狭くなってしまおうと予想。</li><li>・目的達成の確認について。目的が透けて見えるレベルに問いかけを具体的にするには、アジェンダごとの目的をいかに具体的に持っているかだと思った</li></ul>   |

# 学びの生態系を作るLECOとは

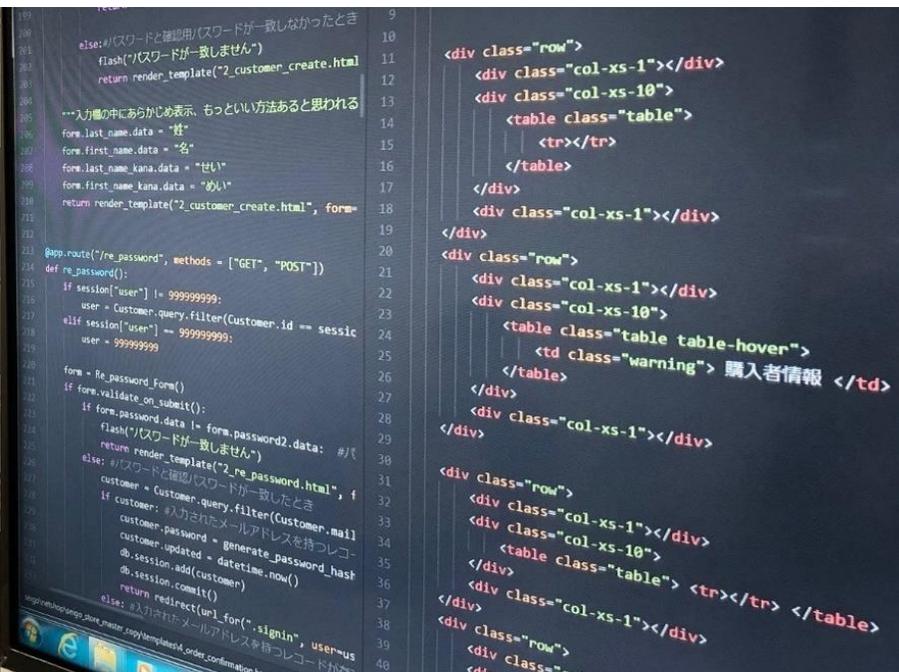
## ③ トレーニングを受けやすくする

- 過去のものは（ほぼ）全て録画が揃っているので、受講しそびれたもの、入社前に開催されたものなど好きなタイミングで受講できる。

| トレーニング名                                   | 日時                     | 講師         | 会場                |
|---|------------------------|------------|-------------------|
| 【TA座談会】 Japan IT Week 2024 春レポート<br># 座談会 | 2024/06/07 17:00-18:00 | Aさん<br>他7名 | Zoom              |
| 文章作成/要約<br># ドキュメンテーション                   | 2024/06/07 16:00-18:00 | Bさん        | Zoom              |
| 【養成学校】 Planningコース_AS前半<br># IT Planning  | 2024/06/07 15:00-18:00 | Cさん<br>Dさん | Arena<br>(対面のみ)   |
| 【おむすび】 天神PJ振り返り座談会#4<br># 座談会             | 2024/06/07 15:00-17:00 | Eさん<br>他2名 | Zoom              |
| ふりかえりトレーニング<br># 問題解決                     | 2024/06/07 14:00-16:00 | Fさん<br>他3名 | Akasaka<br>Charta |
| Mgt向け提案勉強会<br># New Business              | 2024/06/07 13:00-15:00 | Gさん<br>Hさん | Zoom              |
| 【TA座談会】 生成AIの裏側<br># テクニカル・ナレッジ           | 2024/06/07 13:00-15:00 | Iさん        | Zoom              |
| 【TS半年】 フィードバック<br># フィードバック               | 2024/06/07 10:00-12:00 | Jさん<br>他2名 | Charta            |

いつでも録画  
受講できる

# 学びの生態系を作るLECOとは 番外編：LECOの開発も「IT能力ブースト道場（8か月+延長8か月）」のアウトプット



## ここまでのまとめ

- ケンブリッジの育成制度

- ① 金曜日はトレーニングDay
- ② 年間250のトレーニング
- ③ 社員が社員を育てる

- 学びの生態系を作るLECOとは

- ① 講師と受講者をマッチング
- ② 講師を後押し
- ③ トレーニングを受けやすくする

## ここまでのまとめ

### ● ケンブリッジの育成制度

- ① 金曜日はトレーニングDay
- ② 年間250のトレーニング
- ③ 社員が社員を育てる

### ● 学びの生態系を作るLECOとは

- ① 講師と受講者をマッチング
- ② 講師を後押し
- ③ トレーニングを受けやすくする



「成長は自己責任」に  
必要な仕組み



「成長は自己責任」を  
後押しするための仕組み

## 本日本話すること

1. ケンブリッジの育成制度
2. 学びの生態系を作る **LECO** とは
3. 学ぶ組織を育むコッ3選

## 育つ文化を育むコツ3選

- 本日はケンブリッジの事例を紹介しましたが、マネをする必要はありません。
- また、育つ文化はすぐには作れません。
- なので、一歩目を踏み出す時のおすすめのコツ3選を紹介します。

1.小さく数人からはじめる

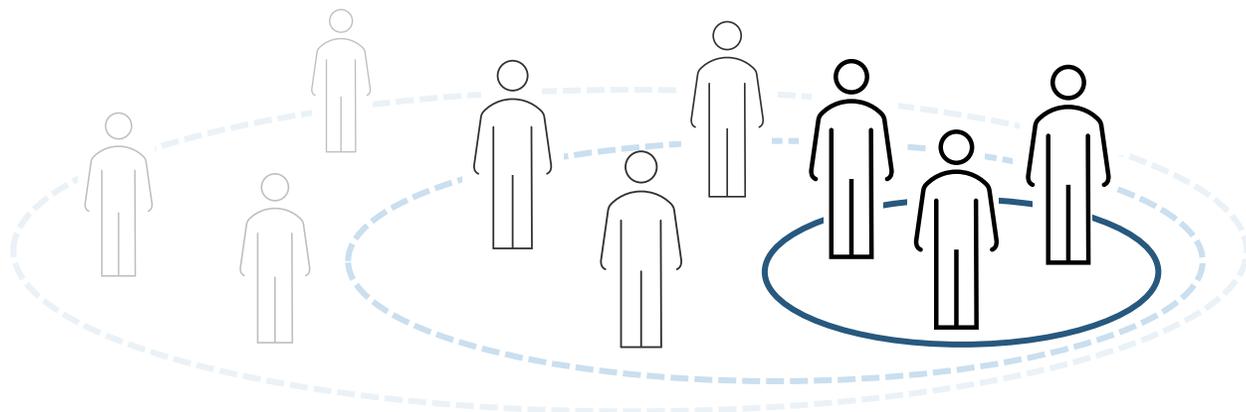
2.やる気のある人の背中を押して成功体験を

3.心理的安全性確保と講師へのリスペクトを



## 育つ文化を育むコツ3選

### ① 小さく数人から始める



数人から始めて徐々に広げる

#### ■例

- ✓ わたしが実践してる営業手法
- ✓ 家庭とキャリアの両立相談
- ✓ こんな外部研修受けてきました
- ✓ ○○さんに経理業務を聞く会
- ✓ ちょっと便利なOffice操作
- ✓ 育児休業を取得して感じたこと

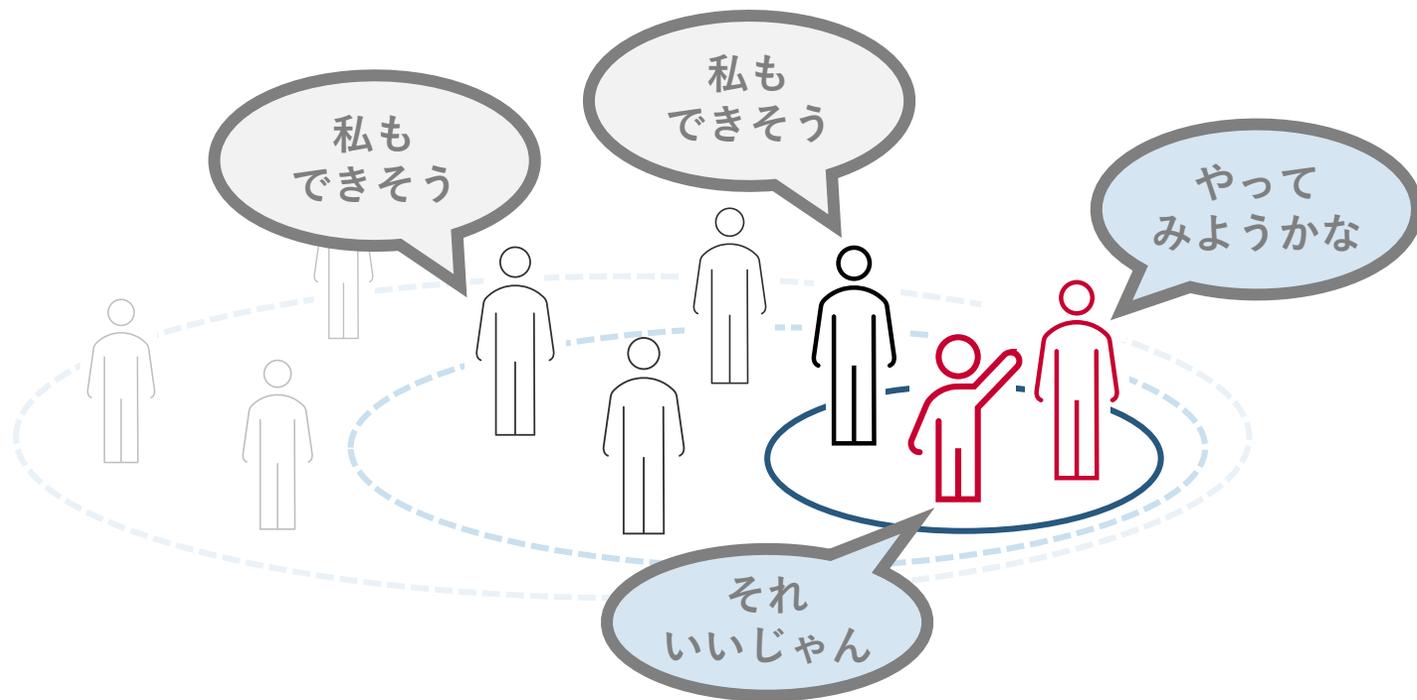
ちょっとしたことの共有からでOK

いきなり大きく始めず、数人から始める。  
内容もちょっとしたもので良い。

## 育つ文化を育むコツ3選

### ② やる気のある人の背中を押して成功体験を

- 普段の会話の中からやる気を感じたら「良いじゃん、やってみなよ」と背中を押す



#### 後押しのポイント

- 本人の「やりたい」「やりがい」「活かしたい」を尊重し、後押ししてあげる。
- 自分自身では「価値あるの?」という不安を抱えているもの。第三者が認め、後押しをしてあげないとなかなか動けない。
- ファーストペンギンがやりきると、セカンドペンギンも現れる。定着化まではフォロー・サポートをお忘れなく。

講師は背中を押されないと動かない  
優しく背中を押してあげましょう

## 育つ文化を育むコツ3選

### ③ 心理的安全性確保と講師へのリスペクトを

- 講師をやってくれる人は大きなプレッシャーと戦い当日を迎えます。
- トレーニングにはリスペクトを持って参加し、ちゃんとフィードバックしてあげましょう。

#### フィードバックのポイント

1. なるべく早く伝える：1週間後に言われても嬉しさも、反省も半減
2. リボンをかけて渡す、プレゼント：相手のためになることを、相手を思って渡すもの。そして渡す「モノ」だけでなく「渡し方」が大事だということ。感謝と愛情を添えて。
3. 学んだことを書き記す：自分が学んだことを書くことで学習効果が高まるだけでなく、講師に刺さった部分がどこかを伝えることができる。それも講師の学びになる。



# 育つ文化を育むコツ3選

再掲

- 本日はケンブリッジの事例を紹介しましたが、マネをする必要はありません。
- また、育つ文化はすぐには作れません。
- なので、一歩目を踏み出す時のおすすめのコツ3選を紹介します。

1.小さく数人からはじめる

2.やる気のある人の背中を押して成功体験を

3.心理的安全性確保と講師へのリスペクトを



## 参考) もし、一歩目が踏み出せたら

- 学ぶ土壌ができたなら、応用編のセミナーが[YouTubeにあります](#)ので、ぜひご覧ください。

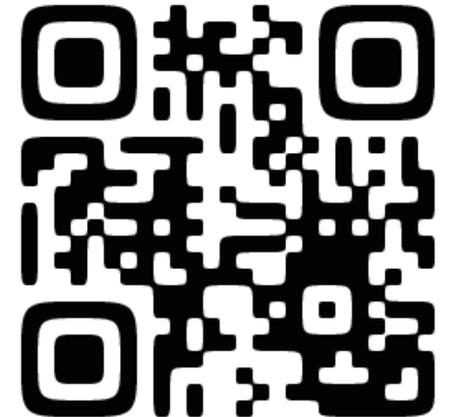
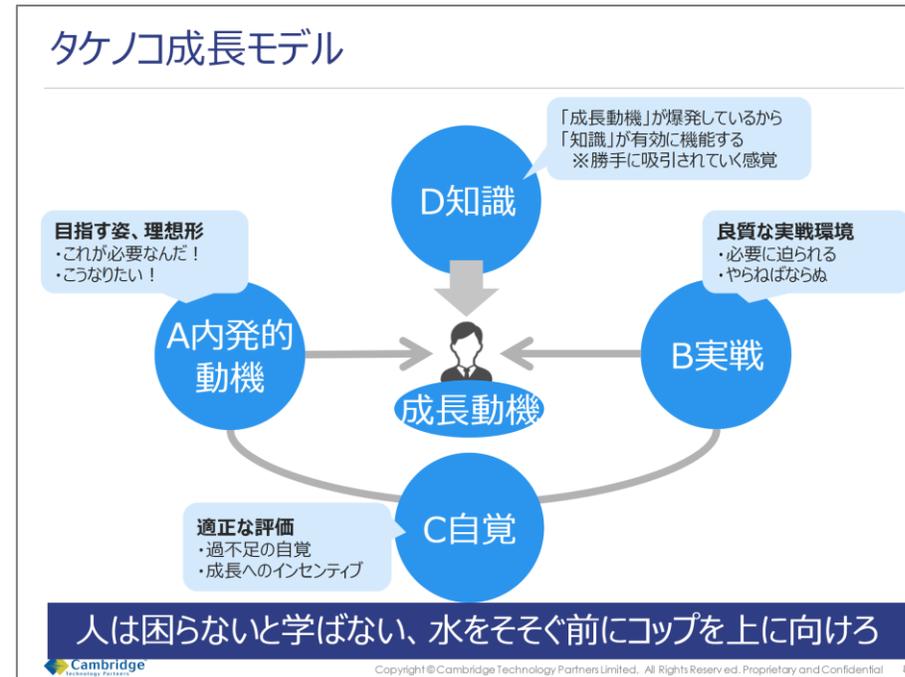
ケンブリッジ流人材育成

社員がタケノコのように育つわけ  
～研修プログラムを気にする前に、押さえるべきポイント～

Cambridge Technology Partners Limited.

 <https://www.ctp.co.jp/>

Copyright © Cambridge Technology Partners Limited. All Rights Reserved. Proprietary and Confidential.



## まとめ

### 「成長は自己責任」に 必要な仕組み

- ケンブリッジの育成制度
  - ① 金曜日はトレーニングDay
  - ② 年間250のトレーニング
  - ③ 社員が社員を育てる

### 「成長は自己責任」を 後押しするための仕組み

- 学びの生態系を作るLECOとは
  - ① 講師と受講者をマッチング
  - ② 講師を後押し
  - ③ トレーニングを受けやすくする

### 一歩目を踏み出すなら

- ① 小さく数人からはじめる
- ② 心理的安全性確保と講師へのリスペクトを
- ③ やる気のある人の背中を押して成功体験を



<https://www.ctp.co.jp/>

<https://www.youtube.com/@ctpchannel>